

● 移住交流支援センターだより ●



NPO法人
グリーンバレー
の伊藤が
お届けします。
お問合せ
☎676-1177
IP : 2028

興味がある人、文章を書くのが好きな人、アートが好きなど、全国各地から多様な若者が集まっ

**売買や賃貸を希望される
空き家情報を募集しています**

神山町に転入を希望する方に、賃貸物件または売買物件として紹介できる空き家の情報を募集しています。

移住交流支援センターでは、お子様連れの若者夫婦、神山で起業を考えている方などに、優先的に物件の紹介をしております。またセンターを介して物件のマッチングができた場合、センターが提携する不動産会社による仲介サービスを受けられますので、安心してお取引することができます。センターでの紹介を希望される方は、お気軽にお問い合わせください。

— 新規移住 相談件数 —

8月…11件
9月…4件



今月のインタビュー

ウェブ制作会社モノサスが実施する職業訓練「神山ものさす塾」をご紹介します。現在10名のものさす塾生が、阿野地ノ平と上分殿宮で暮らしながら、改善センターで6カ月ホームページ制作の勉強をしています。ものさす塾事務局の降旗ゆかりさん、塾生の赤嶺繭子さん、村上昌平さんにお話しを伺いました。

〈神山ものさす塾について〉

降旗 ものさす塾は今年が2期目の取り組みです。訓練の前半はコーディングというホームページを作る技術を学び、10月からの後半ではホームページ用の記事の書き方やインタビュー、写真撮影などを勉強しています。第2期神山ものさす塾には、地域に



神山ものさす塾生と先生のみなさん

ています。

〈塾に参加したきっかけ〉

村上 もともと漁や狩猟が好きで、自然の近くでの暮らしに興味がありました。また神山に来る前は会社勤めで通勤も多く、会社が用意した環境の中でしか生きていけないことに少し不安を感じていて、場所にとらわれずに仕事ができそうなコーディングを学ぼうと思いい、参加を決めました。

赤嶺 田舎で働くため手に職をつけたいと考えている時に、たまたま塾生募集記事を読みました。モノサス社長の林さんの「ともに生きていたい人と働く」という考え方に共感したのが、応募の一番の理由でした。

〈神山で暮らしてみて〉

赤嶺 大分の実家も山あいの集落にあるので、虫が多かったり、薪でお風呂を焚いたりするのは、実家とほぼ同じです。今住んでいる阿川地区の人たちをはじめ、私たちが気軽に受け入れてくれる人

が多くて助かっています。

村上 殿宮に住んでいるのですが、1度こういう場所で暮らしてみたら、生活にはあまり不便を感じていません。近所には車を持たずに暮らしている人もいて、殿宮の人たちの逞しさには驚きました。

〈これからの抱負〉

赤嶺 12月の卒業までに、ホームページを自分で1つきちんと作れるようになりたいです。これは塾に参加した当初からの目標でした。

村上 ホームページや記事を書くことなどの伝える力を身につけて、身近な課題を発信していきたいです。そして地域の困りごとを1つずつ解決していけるようになりたいと思います。

* * *

取材のご協力ありがとうございました。現在町内では、ほかにも複数の企業が職業訓練を実施しています。若者が神山で働き始めるきっかけとなっています。みなさんも塾生たちの新しい挑戦を、そつと応援してみてください。

